

令和8年度 学校経営計画書

| | | | | | |
|------|---|-----|------------|-----|-------|
| 学校番号 | 5 | 学校名 | 静岡聴覚特別支援学校 | 校長名 | 佐藤 容子 |
|------|---|-----|------------|-----|-------|

1 目指す学校像「自立と共生への学びを深める学校」

(1) 教育目標

「人との関わりを楽しみながら、自分らしくたくましく進んでいく子」
 ～自分の可能性を信じ、人と交わる中で豊かな言語力を身に付け、共生社会の担い手として主体的に生きる人を育む

<教育の柱>

○豊かな言語力 ○確かな学力 ○健やかな体 ○思いやりの心

<合言葉>

「明るく！キラキラ 楽しく！ワクワク きずな！つなぐ 元気なしずろっ子！」

(2) 目標具現化の柱

【安全・安心】

ア 多様性を認め合い、自己肯定感を高める集団づくり

イ 予測困難な事態に対応できる危機管理意識の向上

ウ 健全な心と体の成長の促進

【つなぐ学び】

エ 「個別最適な学び」の深化

オ 対話と協働による深い学びと聴覚障害教育の専門性の向上

カ 社会とつながる学びとキャリア教育の取組の拡充

【信頼・連携・ウェルビーイング】

キ センターの機能の充実と情報発信の拡充

ク ウェルビーイングあふれるチーム学校づくり

2 本年度の取組（重点目標はゴシック体で記載） * 「業務改善」についても記入する。

【安全・安心】

| | 取組目標 | 達成方法（取組手段） | 成果目標 | 担当部署 |
|---|-------------------------|---|--------------------------------|-----------------------|
| ア | 多様性を認め合い、自己肯定感を高める集団づくり | ○道徳教育、「人権教育年間計画」に基づいた実践と内容の充実 ○児童生徒のセルフマネジメントの促進 | ○自分と仲間を大切にし、自分の良さを発揮しながら生活できる子 | 生徒指導 ・防災課 健康体育課 |
| イ | 予測困難な事態に対応できる危機管理意識の向上 | ○聴覚障害者に対応した危機管理マニュアルの見直しと実際に即した防災訓練の実施 | ○安全な行動が分かり、自分の命を守ることができる子 | 生徒指導 ・防災課 事務部 |
| ウ | 健全な心と体の成長の促進 | ○運動に親しむ取組の工夫 | ○友達と関わりながら、進んで身体を動かす子 | 健康体育課 小学部 中学部 |

【つなぐ学び】

| | 取組目標 | 達成方法（取組手段） | 成果目標 | 担当部署 |
|---|----------------------------|---|---|--|
| エ | 「個別最適な学び」の深化 | ○「考える」ための手掛かりとしてICTを活用する学びの取組 | ○ICTを活用して、学びを広げている子 | 教務・情報課 研修課 |
| オ | 対話と協働による深い学びと聴覚障害教育の専門性の向上 | ○3校間連携体制等による教員の授業力及び「個別の指導計画」を生かした自立活動の指導力の向上 | ○「人・もの・こと」との関わりの中で、自らの考えを深め、表現することを楽しむ子 | 研修課 自立活動課 |
| カ | 社会とつながる学びとキャリア教育の取組の拡充 | ○「キャリアパスポート」を生かした「交流及び共同学習」の充実 | ○『交流及び共同学習』での学びを楽しむ子 | キャリア教育推進委員会 共生社会推進委員会 幼稚部 中学部 |

【信頼・連携・ウェルビーイング】

| | 取組目標 | 達成方法（取組手段） | 成果目標 | 担当部署 |
|---|----------------------|--|--|---------------------------|
| キ | センター的機能の充実と情報発信の拡充 | ○保護者、地域、専門家、関係機関、等との継続的な連携体制づくり ○乳幼児教室や地域（幼小中高校等）への情報提供と相談機能の強化 | ○校内や関係機関、3 聾との連携を図りながら、センター的機能を発揮できている学校 | 共生社会推進委員会 地域支援部 事務部 |
| ク | ウェルビーイングあふれるチーム学校づくり | ○事務室と連携した教育活動の促進及び、働きがいのある環境の整備 | ○教職員が働きがいを持ち、業務改善の取組に参加している学校 ・教職員の時間外在校時間 月 45 時間以下 ・退勤から翌日の出勤まで 11 時間以上の確保 | 運営委員会 職員安全衛生委員会 事務部 |